

代表質問

松村 幸治 議員
(志政クラブ)



改良住宅の払下げを進めてはどうか。

国、県との協議はもとより、住宅の現状を把握しながら、払下げの方法も含め、研究する。

令和5年度の予算編成方針について、どのような予算要求を提出するのか。

後藤 修 議員
(はばたき)



地域公共交通に関する

令和4年第4回 阿波市議会定例会の概要

第4回定例会は、11月28日から12月21日までの24日間の会期が開かれました。開会日には表彰状の伝達があり、総務大臣より原田定信議員に感謝状が贈呈されました。続いて藤井市長から、伊沢小学校区自主防災組織連合会の設立大会、災害廃棄物仮置場実地訓練、市内美化ボランティア清掃活動、一般県道船戸切幡上板線土成区間開通式等についての行政報告と、国宮かんがい排水事業吉野川北岸二期地区の早期完成について、及び金清調整池拡張工事の早期着工について等、県選出国會議員等への要望活動について説明がありました。

また、令和4年度阿波市一般会計補正予算、及び特別会計補正予算、条例の一部改正などの議案について概要と提案理由の説明がありました。

代表・一般質問は12月8日、9日の2日間に行われ、11人が市政全般について理事者の考えを問ひ、地方創生・環境・教育・健康福祉・農業関係・建設・情報・観光・財政等について議論しました。

14日に総務、15日に文教厚生、16日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、請願を除く市長提出議案をいずれも可決しました。

追加議案として、予算案件1件、条例案件5件、人事案件1件が提出され、いずれも可決・同意となりました。

アンケートの調査概要と集計結果、及び利用実態や住民ニーズをどう考えるか。また、今後の地域公共交通の方向性について。

あわめぐりの認知度は、一般54%、高校生30・1%。満足度は、満足・やや満足と答えたのが、一般88・4%、高校生40%など。今後、若年層のニーズにも対応していくことが必要であると認識している。方向性としては、阿波市地域公共交通計画において必要な施策を取りまとめていく。

吉田 稔 議員
(阿波みらい)



新ごみ処理施設整備事業について。落札者を決める事業者選定委員会には有識者を含んでいるのか。

大学より環境防災分野及び応用微生物学の有識者各1名に加わってもらい、1市2町の行政機関の4名を加えた6名で構成している。

この処理方式の要であるごみ固形燃料の納入先の見直しは立っているのか。

複数の企業訪問をした中で、受け入れ可能であるとの回答を得ている。

今年度、国から過疎指定を受けた市場町における対策事業の運用状況と今後

の増額内容及び阿波市としての負担は。

固形燃料の成形機や高性能な選別機、排水設備、外構工事や太陽光パネルの追加等によるものである。また、1市2町の負担分のうち、阿波市の負担割合は約60%と見込んでいる。

市道中央東西線(阿波町馬場から東へ6km余り)の自歩道整備について。事業着手から28年が経過している。特に中高校生の通学が危険な状況である。早期完了できないか。

安全で安心な生活環境に欠かせない大変重要な事業であり、有利な財源を活用しスピード感を持って取り組む。

災害備蓄品の整備や保管状況はどうなっているのか。

備蓄品は各町の防災倉庫や中学校に保管している。今後、備蓄品を各避難所に分散配置できるように進めていきたい。

市民への周知はどのようになっているのか。

各種イベントでの展示、出前授業や防災講話、広報への掲載をしている。今後、ホームページ等への掲載を進めていきたい。

学校の防災対策について。

一般質問

藤本 功男 議員
(はばたき)



災害備蓄品の整備や保管状況はどうなっているのか。

備蓄品は各町の防災倉庫や中学校に保管している。今後、備蓄品を各避難所に分散配置できるように進めていきたい。

市民への周知はどのようになっているのか。

各種イベントでの展示、出前授業や防災講話、広報への掲載をしている。今後、ホームページ等への掲載を進めていきたい。

学校の防災対策について。

学校防災計画に基づき、校舎等の耐震化はもとより、防災教育や防災訓練、地域との連携等をしている。防災ヘルメットの設置については、検討していく。

男性トイレにおけるサ

ニタリーボックス(汚物入れ)について。

病気などで尿漏れパッドなどを使用している人が外出時に廃棄に苦慮していると思われる。今後、多目的トイレがない男性トイレについては、設置可能かどうか調査検討していく。

学校の性教育について、子どもたちを取り巻く性の課題とは何か。

性に関する意識や価値観が多様化するとともに、アプリやSNSの普及などにより、性被害に会いやすい環境にある。

課題解決のために、どのような性教育を進めていくのか。

人間尊重、男女相互の望ましい人間関係のあり方を基礎にする。性被害の実態を学ぶ。そして、自身自身を大切にできる価値観に基づき、自己決定できる力を身につける。さらに、保護者と連携した情報モラル教育を推進する。

阿波市ががんばる農業者応援給付金の申請状況はどうなっているのか。

個人農業経営者と想定した約2,000人のうち、申請者1,757人。農業法人と想定した約60法人の内、申請数49法人。どちらも8割を超える申請率で、年内に支払いが完了するよう進めている。

高騰する燃油、家畜飼料、肥料原料に対する国の支援策はどうなっているのか。

国の対策事業として、施設園芸等燃油価格高騰対策、飼料価格高騰緊急対策、肥料価格高騰対策等を実施。県においては国の事業に上

乗せして、徳島県肥料価格高騰緊急対策事業、施設園芸燃油等価格高騰緊急対策事業を実施。

阿波町中央東西線の県道志度山川線と交わる自歩道整備の状況について。

県道志度山川線と交わる取り合い部の自歩道は県が施工。そこから東の中大久保谷橋西詰めまでの間は、県の設計に基づき本市が現在工事を施工。

久勝・伊沢地区における自歩道の未整備区間の見直しはどうなっているのか。

久勝地区は、現時点で3か所約96mが未整備区間。この内約38mは用地取得が完了し、令和5年度には整備を行う計画。伊沢地区は、3か所約54mが未整備区間。この内約20mは地権者の用地取得への理解が得られ、来年度物件移転補償鑑定業務を進める計画。

給食費は、負担を増やさないため値上がり分を補助してきたが、思い切った全額補助で無償化してみてもいいか。

学校給食法第11条等により、保護者負担について規定されている。少子化問題の克服と子育て支援の観点から検討すべき課題として、市長会を通じて国や県へ提言している。

市営住宅の連帯保証人について本市の現状は。

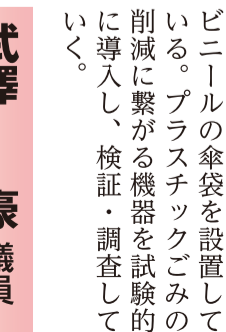
阿波市市営住宅設置及び管理に関する条例及び阿波市市営住宅管理規則において要件を満たす2名の連帯保証人が必要と具体的に定められている。

国が示す標準条例(案)において保証人の規定が削除されたが、本市はどのように考えているのか。

令和2年4月の民法改正に合わせ阿波市市営住宅管理規則の改正を行い、入居条件を緩和するための規定を加えた。

一般質問

武澤 豪 議員
(志政クラブ)



先日の阿波市の断水事故の原因も含め、阿波市の水道管のチェックはどのようになっているのか。

水道中央監視装置により水位等に大きな変動がある場合に、施設確認及びその地域の管路網の漏水調査を行い、原因を早期に究明し、迅速に対応している。断水事故については明確な原因は判明していないが、管路の劣化や埋設状況、交通状況の変化によるものではないかと推測される。

断水事故については明確な原因は判明していないが、管路の劣化や埋設状況、交通状況の変化によるものではないかと推測される。

断水事故については明確な原因は判明していないが、管路の劣化や埋設状況、交通状況の変化によるものではないかと推測される。

断水事故については明確な原因は判明していないが、管路の劣化や埋設状況、交通状況の変化によるものではないかと推測される。

断水事故については明確な原因は判明していないが、管路の劣化や埋設状況、交通状況の変化によるものではないかと推測される。

断水事故については明確な原因は判明していないが、管路の劣化や埋設状況、交通状況の変化によるものではないかと推測される。

問 水道管更新も含めた今後の計画は。
答 本市の法定耐用年数40年を経過した老朽管の総延長は、令和3年度末時点で約132kmとなっており、更新対象管路の抽出と優先順位を設定し、計画的に更新を進めるとともに、巨大地震に備えるため施設の統廃合や効率化など、計画的な水道事業に取り組む。

問 国がDX化を進めている中、阿波市はどのように変化したか。
答 本市では阿波市デジタル推進プロジェクトチームを立ち上げ、デジタル化情報発信の強化を進めており、阿波市LINE公式アカウントにおいてセグメント配信や不具合箇所報告の追加、またペーパーレス会議やテレワークについても一部実証実験を行っている。

問 今後の計画は。
答 公共施設のオンライン予約システムの導入、戸籍謄本や所得証明などをLINE上で申請できるLINE電子申請システムの検討など、市民の利便性の向上と事務の効率化を目指し鋭意取り組んでいく。

問 阿波市の粗大ごみ収集は、一部地域を除き、月1回3時間の間に、リサイクルセンターへ各自持ち込みをしなければならぬ。周辺道路が混雑し、危険である高齢者等、持込みが難しい方もいる。無料で家庭まで個別収集を行っている自治体もある。阿波市として今後どのように取り組んでいくのか。
答 従事職員の増員、交通誘導員の配置等、混雑緩和に努めている。粗大ごみに



榎原 浩二 議員
(阿波みらい)

問 阿波市の粗大ごみ収集は、一部地域を除き、月1回3時間の間に、リサイクルセンターへ各自持ち込みをしなければならぬ。周辺道路が混雑し、危険である高齢者等、持込みが難しい方もいる。無料で家庭まで個別収集を行っている自治体もある。阿波市として今後どのように取り組んでいくのか。
答 従事職員の増員、交通誘導員の配置等、混雑緩和に努めている。粗大ごみに

関する課題については、高齢者等市民のニーズや、全国の他市町村における様々な事例を調査し、混雑の緩和や、ゴミ出しの支援を検討していきたい。

問 災害時協力井戸は、約10年前の制度開始以降、現地確認がされていない。今後起り得る大地震に備えた入念な調査と確認、新たな登録の周知について。
答 災害時協力井戸は、個人や事業所から101件の登録がある。管理は、平時には所有者にお願いしている。希望がある場合には、徳島県が無料で実施している水質汚濁防止法に基づく地下水の水質調査を案内している。今後計画的に現地確認を行っていききたい。また引き続き募集を行い生活用水の確保に努める。

問 不審者対策はどのように対応しているのか。
答 警察署・各小中学校・青少年育成センターで阿波市警察連絡協議会を組織し、不審者対策等、様々な問題に迅速に対応できるように各関係機関と連携を図っている。

問 市内中学校の部活動について。中学校の運動部活動の地域移行が検討されているように、阿波市はどう取り組んでいくのか。
答 部活動の地域移行に関しては多くの問題があるため、学校、地域団体と連携し、県教育委員会や他市町村とも情報交換しながら受皿となる組織づくりを検討していきたい。



笠井 安之 議員
(はばたき)

問 こども家庭庁の概要と阿波市の取組について。令和5年4月1日に創設されることも家庭庁の国から示された概要はどのようなものか。
答 こども家庭庁の組織は、企画立案・総合調整部門と生育部門、支援部門の3部門で構成される。

問 阿波市の対応方針をどう考えているのか。
答 これまで本市において、切れ目のない子育て政策を進めてきたところであり、こども家庭庁が創設されることにより効果的かつスピード感をもって施策が展開できるように、本市が目指す子育て支援のまちづくりが加速すると考える。

問 阿波市小中学校の登下校時の安全確保について。交通安全対策(通学路の点検等)及び交通安全教育はどのように行われているのか。
答 平成24年度より毎年小中学校の通学路において通学路危険箇所合同点検を実施している。また、学校安全計画を作成し、指導している。

で新たな設置は許可できないと回答があった。

問 阿波市吉野町と上板町の境の吉野川堤防上道路の規制をすり抜けて、多くの市外通勤者などが往来している。海から約32kmの間でこの約1km区間だけが一般公道となっていない。市道化・県道化を働きかけてほしい。また、県への改修要請は切幡川島線を優先してお願したい。
答 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 土柱周辺について。その風広場周辺の活用について、また、土柱のトイレについて現況は。
答 そよ風広場については老朽化に伴い、令和4年に大型遊具を撤去。それに併せ、景観向上のための雑木の伐採、駐車場機能の向上を行った。また、現在はキャンプサイトとして検討するためのモニタリングを実施しているところである。土柱のトイレについては、現在4つあるうちの2つが漏水のため使用禁止となっている。原因箇所の調査を進めているが、送水パイプが山間部に埋設されているため特定するには至っていない。今後、周辺施設の状態やニーズ、費用対効果等を考慮して対応していく。

問 移住・定住促進について。支援の周知はどうなっているのか。また、空き家バンク登録の家に対して補助金の充実を考えてみてはどうか。
答 支援策の周知については、広報、公式LINE等情報発信に努めている。また、空き家バンク登録への補助金の充実については、移住支援プロジェクトチームにおいて協議を重ね、より効果的な支援策を検討していく。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

問 黒川 理佳 議員 (無所属) 国の一定の占用基準を満たせば協議に応じてもらえるが、道路構造的な安全対策の整備、道路管理延長が増大するなど、課題が多くあり、現時点では吉野川の管理用道路を市道として供用することは困難と考える。

議案番号及び議決結果一覧表

令和4年第4回阿波市議会定例会 (11月28日~12月21日)

議案番号	議案名	議決結果
議案第59号	令和4年度阿波市一般会計補正予算(第7号)について	原案可決
議案第60号	令和4年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第61号	令和4年度阿波市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第62号	令和4年度阿波市水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第63号	阿波市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第64号	阿波市交流防災拠点施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第65号	阿波市ケーブルネットワーク施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第66号	吉野地域福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第67号	市場老人福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第68号	土成保健センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第69号	阿波健康福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
請願第3号	「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願	継続審査
議案第70号	令和4年度阿波市一般会計補正予算(第8号)について	原案可決
議案第71号	阿波市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第72号	市長等の給与と条例の一部改正について	原案可決
議案第73号	阿波市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第74号	阿波市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第75号	阿波市職員の定年等に関する条例等の一部改正等について	原案可決
議案第76号	教育委員会委員の任命について	同意

活動状況報告

●委員会等の開催状況(12月~2月)

- 令和4年
 12月8日 令和4年第4回阿波市議会定例会本会議(代表・一般質問)
 9日 令和4年第4回阿波市議会定例会本会議(一般質問) 全員協議会
 14日 総務常任委員会
 15日 文教厚生常任委員会
 16日 産業建設常任委員会 地域活性化特別委員会
 21日 令和4年第4回阿波市議会定例会本会議(閉会) 全員協議会
 27日 議会改革特別委員会
 令和5年
 2月6日 広報特別委員会
 15日 地域活性化特別委員会
 20日 議会運営委員会
 27日 令和5年第1回阿波市議会定例会本会議(開会) 全員協議会 議会改革特別委員会

議会たより編集雑感
 地方議員には、かつて議員年金制度がありました。しかし、平成23年6月に廃止されています。議員は解散や落選によって、失職することもありません。また議員は首長と違って、退職金制度がありません。そのため、議員の生活保障が十分でないことで優秀な人材が集まりにくくなったり、なり手が不足したりしているとの意見もあります。議員の政策立案や行政監視の能力不足は否めません。力を付ける為にも、議員自ら議会改革を進める必要があるのではないのでしょうか。
 (後藤 修)